静岡県知事
鈴木　康友　様

要　望　書

2026 年 9 月 10 日
多目的ドーム型スタジアム
建設促進期成同盟会

要　望　書

遠州灘海浜公園篠原地区への県の野球場建設について、浜松地域は長年、県に対し早期実現を要望してきました。

令和６年度策定の公園基本計画では、メイン野球場の規模・構造について、1.3 万人の屋外型、2.2 万人の屋外型、2.2 万人の多目的ドーム型の３案が併記され、本期成同盟会としては多目的ドーム型が、自然環境に配慮しながら、天候や酷暑に左右されず、幅広い用途への活用により高い稼働率が見込まれる望ましい案と考えております。

こうした中、県と市による遠州灘海浜公園（篠原地区）利活用推進協議会においては、民間事業者を対象とした利活用提案公募の中で、将来的には投資の可能性もあるとの意見を受け、引き続き、一定の期限を設けて、民間投資の可能性を深堀りしていく方針が示されました。

昨今の物価や建築資材の価格高騰に伴う厳しい財政状況の中で、民間活力の活用は多目的ドーム型スタジアムの実現につながる極めて重要な要素となります。本期成同盟会としても、民間活力を最大限に活用したスタジアムの整備を実現していただきたいと考えております。

「多目的ドーム型スタジアム」の建設は交流人口の拡大や賑わいを創出し、浜松市域や県西部だけでなく、県全体の活性化や発展にもつながることから、県の野球場の建設について、次の事項を強く要望いたします。

記

1．　自然環境に配慮し、天候や酷暑に左右されない多目的ドーム型スタジアムの建設を早期に実現すること

2．　野球以外の幅広いスポーツやイベントも開催が可能な仕様にすること

3．　プロ野球も開催できる 22,000 人規模とすること

4．　民間活力を最大限に活用して着実に取り組むこと

2026 年 9 月 10 日

多目的ドーム型スタジアム建設促進期成同盟会

会　長　浜松市長　　中野 祐介

副会長　浜松市議会議長　　渥美 誠

副会長　浜松商工会議所会頭　　斉藤 薫

副会長　浜松市自治会連合会長　　廣野 寛男